

海外自治体幹部交流協力セミナー2024(パリ事務所管内) 事業概要

1 テーマ

- ①インバウンド誘客を促進するために自治体ができること
(観光客、観光関連事業者及び市民のそれぞれにとって有益な観光振興を図るために)
- ②観光関連の産業振興のために、自治体ができること

2 海外参加者数:5名

Thérèse ÉVEILLARD (Mme) (テレーズ エヴェイヤール)
Plobannalec-Lesconil(プロバナレック・レスコニル村)フランス Directrice Générale des Services 事務総長
Mikael NIVANEN (M.) (ミカエル ニヴァネン)
Inzinzac-Lochrist(アンザンザック・ロキリスト村)フランス Directeur Général des Services 事務総長
Benjamin GOEDERS (M.) (ベンジャマン グーダース)
Jette(ジェット市)ベルギー Directeur Général des Services 事務総長
Nicolas SALVAGNO (M.) (ニコラ サルヴァーニョ)
Métropole d'Aix-Marseille-Provence(エクス・マルセイユ・プロヴァンス・メトロポール)フランス Conseiller Technique 技術顧問
Noemi LOPEZ (Mme) (ノエミ ロペズ)
Saint-Gilles(サンジール市)フランス Directrice des Ressources Humaines 人事部長

3 日程〔2025年1月19日(日)～25日(土)〕

月日	予定	宿泊地
1/19(日)	来日、オリエンテーション	東京都
1/20(月)	<東京セミナー> 地方自治講義、視察、クレア主催歓迎夕食会	東京都
1/21(火)	<出雲市へ移動、地方交流事業> 表敬訪問、出雲市概況説明、視察、出雲市主催歓迎レセプション	出雲市
1/22(水)	<地方交流事業> 視察、意見交換会、帰国前夕食会	出雲市
1/23(木)	<東京へ移動> 東京都庁視察、総務省夕食会	東京都
1/24(金)	<東京セミナー> 視察、東京都庁視察・意見交換	東京都
1/25(土)	帰国	

4 実施内容

《東京セミナー:1月20日(月)》

(1)日本の地方自治に関する講義(明治大学教授 木村俊介)

午前中は明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、木村俊介教授による日本の地方自治に関する講義を受講。日本の地方自治制度に関する包括的な説明が行われた。この講義では、日本の地方自治体の役割と、国の政治・経済システムへの関わりなど、日本の社会基盤に対する理解を深めた。



(2)浅草視察

午後は浅草を視察した。東京を代表する観光地の一つであり、また多数のインバウンド観光客が訪れる浅草寺周辺を視察することで、日本とフランスの観光地の違いについて考察した。



(3)CLAIR 主催歓迎夕食会

CLAIR が主催する歓迎夕食会を開催し、参加者5名のほか、クレアから常務理事、クレアパリ事務所赴任予定者等が参加した。参加者の出身自治体やセミナーテーマなどに関し、忌憚のない意見交換を行い、親睦を深める良い機会となった。



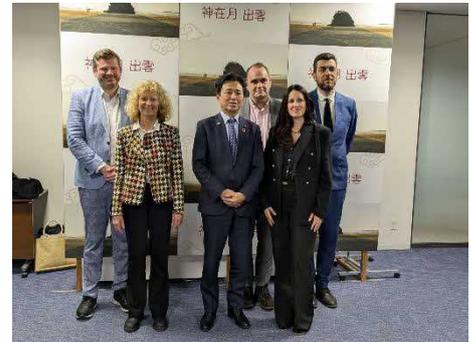
《地方億流事業(出雲市セミナー):1月21日(火)~1月23日(木)》

(1)出雲市長表敬訪問・施策説明

1月21日、出雲市では、到着時に市職員のみなさんに温かく迎えていただいた。

まずは、飯塚俊之市長へ表敬訪問を行った。参加者は各自治体の特産品や工芸品を手渡し、それぞれ自己紹介と、地方交流事業(出雲市セミナー)での意気込みを語った。

その後、出雲市から市の施策概要説明があった。今回のテーマである「インバウンド誘客を促進するために自治体ができること(観光客、観光関連事業者及び市民のそれぞれにとって有益な観光振興を図るために)」に沿った、出雲市の観光地の紹介説明を受け、参加者は、出雲市の観光に関する強みや課題について学んだ。



(2)視察(出雲大社)

市長表敬の後には、出雲大社を訪問した。出雲大社は縁結びの神として知られる、大国主大神を祀る日本を代表する神社である。島根県日仏友好協会による仏語ガイドの案内を受けながら、本殿や拝殿、神楽殿などの重要な建物の歴史や意義について学んだ。さらに、日本における宗教や信仰の在り方について深く理解する機会となった。この視察では、観光地について学ぶだけでなく、それぞれの地域の文化的視点を共有する場ともなった。



(3)稲佐の浜

夕方には出雲大社の西方 1km にある稲佐の浜を訪れ、海に沈む美しい夕日を鑑賞した。参加者はこの雄大な景色を楽しみながら、自然がもたらす静寂と癒しを感じた。



(4)出雲市主催歓迎夕食会

「武志山荘」での歓迎夕食会では、市職員と参加者との間で、多岐にわたる質問が寄せられ、参加者の出雲市の取り組みに対する関心の高さが伺えた。

また、各参加者がスピーチを行い、自身の自治体を紹介した。特に、「そば粉」は、日本では「そば」に使われるが、フランスのブルターニュ地方ではガレットの材料として使われている共通点に触れ、出雲に親しみを感じ、家に帰ってきたような安心感があったという感想が共有された。



(5)木綿街道視察

1月22日午前は、木綿街道の視察を行った。木綿街道は、かつて木綿を生産していた地区を、観光地としての整備した場所である。(一社)木綿街道振興会より、地域の文化財保存と新しい店舗の整備、またそのバランスの重要性について話があった。

また、木綿街道内のしょうゆ製造元を視察した。日本国内のしょうゆの違いについて説明を受けた後、しょうゆのテイスティング体験を行うなどして参加者は和食文化についての理解を深めた。

その他、陶器で作られた伝統人形「平田一式飾り」の展示、文化財を改修した宿泊施設を視察し、木綿街道の観光地としてのポテンシャルについて考察した。



(6)出雲市との意見交換会

午後には、出雲市役所の大社行政センターで意見交換会が実施され、出雲市の担当者と「インバウンド観光」をテーマとした質疑応答・意見交換が行われた。参加者からは、出雲市の第一印象や強みについて意見が出され、出雲市はラグジュアリー旅行に適しており、「本物」の体験ができる地域であるとの説明があった。また、来年出雲市の大社沖に停泊するフランスの豪華客船を迎えるにあたってのアドバイスがなされた。

出雲市セミナーは市役所の担当者や地域住民による多大な協力を得て、参加者からの積極的な質問や議論が交わされるなど充実した内容で、参加者全員から高い評価を受ける形で終了した。



(7) 帰国前夕食会

夜には「看雲楼」にて帰国前夕食会が開催された。セミナーを担当した職員と参加者が一堂に会し、出雲市セミナーでの学びについて共有した。夕食会は懇親を深める場となり、参加者は出雲市セミナー終了を惜しむとともに、今回の経験を振り返る貴重な時間を過ごした。出雲で得た学びと交流の成果を今後の自治体業務に活かしたいという意欲が感じられる場であった。



《東京セミナー:1月23日(木)~1月25日(土)》

(1) 東京都庁視察・意見交換

1月23日、出雲市から東京へ移動した後、東京都庁と都議会を訪れた。参加者らは東京都庁の職員と熱心に意見を交わしながら自国との比較を行い、違いや類似点を学んでいた。



(2) 首都圏外郭放水路視察

1月24日午前、埼玉県春日部市にある首都圏外郭放水路を視察した。視察では、日本の防災インフラの現状や課題について学んだ。ツアーガイドの案内により、施設内の役割や構造について詳しい説明を受けたほか、一般公開することの意義についても学ぶ機会があった。参加者は防災対策のスケールや技術に感銘を受け、参加者は自身の自治体での取り組みと比較しながら議論を深めた。



(3) 川越視察

午後は、埼玉県川越市の蔵造りの街並みを視察し、町の歴史的な建造物や観光地としての整備について学んだ。特に、観光地としての魅力を高めるため、電線の地中化や看板設置などの整備に参加者は関心を示し、観光と地域振興の関係性について深く議論を交わす時間となった。



(4) 帰国

参加者は、それぞれ成田空港または羽田空港から帰国した。今回のプログラムを通じて得られた学びや経験は、今後の自治体業務に活かしていきたいと感じる声が多かった。